

令和2年度まちづくりセンター自己評価表

(お名前)

まちづくりセンター名	阿賀まちづくりセンター		
所在地	呉市阿賀中央6丁目2番16号		
職員数	8人(内訳) 会計年度任用職員6人 夜間パート2人		
エリア面積	14.10Km ²	対象地域人口	14,883人(令和2年12月末現在)

施設	構造	鉄筋コンクリート造 複合ビル12階		
	開館年度	平成4年度	建築年	平成4年
	敷地面積	972.76 m ²	建物面積	3,065 m ²

1 施設の利用状況

	(令和2年度)	(令和元年度)	職員評価	達成状況	委員会評価
利用者数実績 (4月～1月)	14,482人	55,560人			

2 利用者の満足度(令和2年12月実施アンケート調査の実施結果から)

	(令和2年度)	(令和元年度)	職員評価	達成状況	委員会評価
満足	333人 66.9%	447人 58.9%			
まあまあ満足	98人 19.7%	207人 27.3%			
普通	67人 13.4%	101人 13.3%			
あまり満足していない	0人 0%	3人 0.4%			
全く満足していない	0人 0%	1人 0.1%			
	498人 100%	759人 100%			

3 まちづくりセンターとしての役割

評価の視点		評価の項目	職員評価	達成状況	委員会評価
①	地域コミュニティの活動拠点	地域コミュニティの主体的な活動の拠点となっているか？	3	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館や各団体の活動の自粛が続き、例年通りの取り組みができなかった。 ・各講座及びまちづくりセンター事業は子どもから高齢者まで幅広く交流できるものを計画したが、ほとんど中止になった。 ・講座等の取り組みの成果を地域に還元するため、文化連盟と連携しながらギャラリー展示を行った。また、サークル団体などの作品をセンター内に常時展示できるように工夫した。 ・文化連盟や体育協会・運推協など地域の関係団体との繋がりを大事にし、連絡調整に努めている。 ・定期講座の講師が、呉南特別支援学校で出張講座を行うなど、地域の学校と新たな交流が生まれた。 	3
②	地域の諸団体との連携	地域の諸団体との連携事業の実施による地域の基盤づくりに努めているか？	4		
③	学習成果の還元	学習の成果を地域に還元するための環境づくりに取り組んでいるか？	3		
④	地域協働	地域課題の解決に向けた学習及び活動は住民との協働で行っているか？	3		

4 講座事業について

評価の視点		評価の項目	職員評価	達成状況	委員会評価
①	講座の見直し	講座の見直しを行うとともに、趣味・教養に関する講座は、学習目標等を定めているか？	4	<ul style="list-style-type: none"> ・短期講座で好評を得た内容を定期講座に移行するなど定期講座の見直しを図っている。 ・高齢者の健康や社会参加に繋がる講座などを開催している。 ・定期講座は、文化祭での発表や展示、館内2階ギャラリーコーナー展示等を学習のまとめの場として進めている。 ・まちづくり協議会と連携し、「今昔子どもふれあい大会」や「カルタ大会」を企画したが実施できなかった。 	3
②	社会参加のきっかけ	受講生が、社会参加のきっかけとなるような工夫を行っているか？	3		
③	地域の特色の尊重	各地域における伝統文化を始めとする様々な特色を取り入れているか？	3		

5 管理運営について

評価の視点		評価の項目	職員 評価	達成状況
①	地域の人材育成	問題解決型及び参画型の「地域に根ざした学習」による地域の人材育成に取り組んでいるか？	3	・短期講座はできるだけ地元の講師や地域と関わりのある人を活用し、開講している。 ・短期講座の講師を新たに発掘し、今後のセンター活動に関わっていただくように人材発掘や育成にも努めている。
②	地域社会における人的資源	地域社会における人的資源の掘り起こし並びに活用を図っているか？	3	

委員会 評価
3

6 利用の促進について

評価の視点		評価の項目	職員 評価	達成状況
①	利用者の視点に立った運営	利用者の視点に立った施設運営を図っているか？	4	・利用者に寄り添い、丁寧な対応をしている。利用者からは、感謝の言葉を多くいただいている。
②	地域住民の意向の反映	だれもが利用しやすい施設とするため、地域住民の意向を反映しているか？	4	・アンケート調査では、講演会や新たな講座を開設してほしいという要望がある。利用者の要望をしっかりと検討し、実現できるように取り組んでいきたい。
③	地域特性への配慮	貸館等においても地域の特性に配慮する等して、地域における自主的な活動を積極的に支援しているか？	3	・健康維持のための軽運動等に取り組みたいという利用者の声が多いが、少人数で運動ができる部屋がなく対応に苦慮している。
④	市民相互の交流の促進	市民相互の交流の場として、施設の利用促進を図っているか？	4	・短期講座等や行事の告知だけではなく、地域の身近な話題をセンターだよりで取り上げ、より市民に親しみやすい広報活動に取り組んでいる。

委員会 評価
4

7 今後の課題等について

評価の視点		評価の項目	職員 評価	達成状況	委員会 評価
①	職員の資質向上	地域協働に向けたコーディネート機能の強化のために、職員の資質の向上等を図っているか？	3	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化を図るために、伝言板等を活用して職員の意識統一を図り、窓口対応の統一化を図っている。 当委員会での意見や提案は、職員に周知し実行に努めていきたい。さらには、まちづくりセンターだよりやHPに掲載し、市民に広報していきたい。 まちづくりセンターだよりやパンフレットにより、短期講座や行事の開催を分かりやすいように情報提供している。 今後もホームページの充実、更新に努めていきたい。 	4
②	委員会の活用	各地域活動推進委員会の積極的な活用を図っているか？	3		
③	情報の提供	情報提供を充実させているか？	4		

※ 共通評価基準 5＝達成している, 4＝ほぼ達成している, 3＝ある程度達成している, 2＝あまり達成していない, 1＝達成していない
 (達成度80%以上) (達成度60%程度) (達成度50%程度) (達成度40%程度) (達成度20%以下)

☆ まちづくりセンター自己評価について

自由意見	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大を受けての制約、館内空調工事と思い通りの活動ができなかったのは、やむを得ない事と思う。そんな中でも少しでも利用できやすくしようと教室にストーブを置いたりとのセンターの配慮に利用者は感謝していた。「阿賀まちづくりセンター」発信では、様々な情報が得られて良い。短期講座も以前と比べると様々な分野が増えつつあると感じる。廊下壁面のポスター、ロビーを見渡して職員の皆さんの頑張りを感じています。ギャラリー作品展示も教室生の人は楽しみにしているようです。一朝一夕にはゆかず、ゆるやかにカーブしていけば良いと思う。</p> <p>本年度は、コロナ禍の中できることを模索し、よく取り組まれていると思います。利用者数が減少したのはやむを得ないことであり、社会情勢を踏まえ目標を修正していけば、このような状況でこれだけの人が施設を利用したことは素晴らしい実績だと考えます。今は、まちづくりセンターとの連携が難しい状況ですが、来年度に向け地域とともに歩む教育活動を展開するための準備を行っています。</p>
------	---